

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年1月5日

協議会名：滑川市地域公共交通会議

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
滑川市	菘輪① (みのわ温泉～中新～市民交流プラザエール前)	新規利用者獲得のため、市内公共交通の路線図や時刻を掲載したコミュニティバスの時刻表を全世帯に配布したほか、市内の学校、病院、商業施設、観光施設等に時刻表を設置した。また、コミュニティバスの時刻を掲載した利用を呼び掛けるポスターを作成し市内中学校へ掲示した。 コミュニティバスの認知度向上のため、県内交通事業者と連携し、小学生の運賃を無料にする「親子でおでかけ事業」を夏休みに実施した。 通勤・通学者の利便性向上のため、滑川駅での鉄道との乗り継ぎを検証しダイヤに反映させた(朝：上り線、夕方：下り線)。 また、利用促進、利便性向上のため、県内の路線バスの位置情報、運行状況、遅延情報を案内する「とやまロケーションシステム」を導入した。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 利用者数は10,251人(前年同期12,332人)、1便あたりの輸送人員は5.3人(目標8.4人)であった。 目標・効果が未達成な理由として、新型コロナウイルス感染症の影響や入院・死亡等による既存利用者の減少、高齢ドライバーの増加による新規利用者の伸び悩みが考えられる。 また、魚津方面へ通勤・通学する方にとって滑川駅での乗り継ぎに不便さがあることが考えられる。	感染症対策を確実にいながら、新規利用者獲得のための事業を継続する。 必要に応じて停留所やルートの見直しを検討するほか、鉄道のダイヤ改正時には、乗り継ぎの利便性を向上できるように、コミュニティバスのダイヤを検証する。
滑川市	菘輪② (滑川駅前～みのわ温泉～市民交流プラザエール前)	新規利用者獲得のため、市内公共交通の路線図や時刻を掲載したコミュニティバスの時刻表を全世帯に配布したほか、市内の学校、病院、商業施設、観光施設等に時刻表を設置した。また、コミュニティバスの時刻を掲載した利用を呼び掛けるポスターを作成し市内中学校へ掲示した。 コミュニティバスの認知度向上のため、県内交通事業者と連携し、小学生の運賃を無料にする「親子でおでかけ事業」を夏休みに実施した。 通勤・通学者の利便性向上のため、滑川駅での鉄道との乗り継ぎを検証しダイヤに反映させた(朝：上り線、夕方：下り線)。 また、利用促進、利便性向上のため、県内の路線バスの位置情報、運行状況、遅延情報を案内する「とやまロケーションシステム」を導入した。	A 計画通り事業は適切に実施された。		
滑川市	菘輪③ (滑川駅前～中新～みのわ温泉)	新規利用者獲得のため、市内公共交通の路線図や時刻を掲載したコミュニティバスの時刻表を全世帯に配布したほか、市内の学校、病院、商業施設、観光施設等に時刻表を設置した。また、コミュニティバスの時刻を掲載した利用を呼び掛けるポスターを作成し市内中学校へ掲示した。 コミュニティバスの認知度向上のため、県内交通事業者と連携し、小学生の運賃を無料にする「親子でおでかけ事業」を夏休みに実施した。 通勤・通学者の利便性向上のため、滑川駅での鉄道との乗り継ぎを検証しダイヤに反映させた(朝：上り線、夕方：下り線)。 また、利用促進、利便性向上のため、県内の路線バスの位置情報、運行状況、遅延情報を案内する「とやまロケーションシステム」を導入した。	A 計画通り事業は適切に実施された。		

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
滑川市	大日室山① (博物館前～大日～市民交流プラザエール前) 車両減価償却費等国庫補助金	新規利用者獲得のため、市内公共交通の路線図や時刻を掲載したコミュニティバスの時刻表を全世帯に配布したほか、市内の学校、病院、商業施設、観光施設等に時刻表を設置した。また、コミュニティバスの時刻を掲載した利用を呼び掛けるポスターを作成し市内中学校へ掲示した。 コミュニティバスの認知度向上のため、県内交通事業者と連携し、小学生の運賃を無料にする「親子でおでかけ事業」を夏休みに実施した。 通勤・通学者の利便性向上のため、滑川駅での鉄道との乗り継ぎを検証しダイヤに反映させた(朝:上り線、夕方:下り線)。 また、利用促進、利便性向上のため、県内の路線バスの位置情報、運行状況、遅延情報を案内する「とやまロケーションシステム」を導入した。	A 計画通り事業は適切に実施された。		
滑川市	大日室山② (滑川駅前～大日～市民交流プラザエール前) 車両減価償却費等国庫補助金	新規利用者獲得のため、市内公共交通の路線図や時刻を掲載したコミュニティバスの時刻表を全世帯に配布したほか、市内の学校、病院、商業施設、観光施設等に時刻表を設置した。また、コミュニティバスの時刻を掲載した利用を呼び掛けるポスターを作成し市内中学校へ掲示した。 コミュニティバスの認知度向上のため、県内交通事業者と連携し、小学生の運賃を無料にする「親子でおでかけ事業」を夏休みに実施した。 通勤・通学者の利便性向上のため、滑川駅での鉄道との乗り継ぎを検証しダイヤに反映させた(朝:上り線、夕方:下り線)。 また、利用促進、利便性向上のため、県内の路線バスの位置情報、運行状況、遅延情報を案内する「とやまロケーションシステム」を導入した。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 利用者は9,885人(前年同期12,329人)、1便あたりの輸送人員は5.1人(目標8.4人)であった。 目標・効果が未達成な理由として、新型コロナウイルス感染症の影響や入院・死亡等による既存利用者の減少、高齢ドライバーの増加による新規利用者の伸び悩みが考えられる。 また、魚津方面へ通勤・通学する方にとって滑川駅での乗り継ぎに不便さがあることが考えられる。	感染症対策を確実にしながら、新規利用者獲得のための事業を継続する。 必要に応じて停留所やルートの見直しを検討するほか、鉄道のダイヤ改正時には、乗り継ぎの利便性を向上できるように、コミュニティバスのダイヤを検証する。
滑川市	大日室山③ (滑川駅前～大日～中開) 車両減価償却費等国庫補助金	新規利用者獲得のため、市内公共交通の路線図や時刻を掲載したコミュニティバスの時刻表を全世帯に配布したほか、市内の学校、病院、商業施設、観光施設等に時刻表を設置した。また、コミュニティバスの時刻を掲載した利用を呼び掛けるポスターを作成し市内中学校へ掲示した。 コミュニティバスの認知度向上のため、県内交通事業者と連携し、小学生の運賃を無料にする「親子でおでかけ事業」を夏休みに実施した。 通勤・通学者の利便性向上のため、滑川駅での鉄道との乗り継ぎを検証しダイヤに反映させた(朝:上り線、夕方:下り線)。 また、利用促進、利便性向上のため、県内の路線バスの位置情報、運行状況、遅延情報を案内する「とやまロケーションシステム」を導入した。	A 計画通り事業は適切に実施された。		

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
滑川市	小森① (田林公民館前～小森～市民交流プラザエール前)	新規利用者獲得のため、市内公共交通の路線図や時刻を掲載したコミュニティバスの時刻表を全世帯に配布したほか、市内の学校、病院、商業施設、観光施設等に時刻表を設置した。また、コミュニティバスの時刻を掲載した利用を呼び掛けるポスターを作成し市内中学校へ掲示した。 コミュニティバスの認知度向上のため、県内交通事業者と連携し、小学生の運賃を無料にする「親子でおでかけ事業」を夏休みに実施した。 通勤・通学者の利便性向上のため、滑川駅での鉄道との乗り継ぎを検証しダイヤに反映させた(朝:上り線、夕方:下り線)。 また、利用促進、利便性向上のため、県内の路線バスの位置情報、運行状況、遅延情報を案内する「とやまロケーションシステム」を導入した。	A 計画通り事業は適切に実施された。		
滑川市	小森② (滑川駅前～小森～市民交流プラザエール前)	新規利用者獲得のため、市内公共交通の路線図や時刻を掲載したコミュニティバスの時刻表を全世帯に配布したほか、市内の学校、病院、商業施設、観光施設等に時刻表を設置した。また、コミュニティバスの時刻を掲載した利用を呼び掛けるポスターを作成し市内中学校へ掲示した。 コミュニティバスの認知度向上のため、県内交通事業者と連携し、小学生の運賃を無料にする「親子でおでかけ事業」を夏休みに実施した。 通勤・通学者の利便性向上のため、滑川駅での鉄道との乗り継ぎを検証しダイヤに反映させた(朝:上り線、夕方:下り線)。 また、利用促進、利便性向上のため、県内の路線バスの位置情報、運行状況、遅延情報を案内する「とやまロケーションシステム」を導入した。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 利用者数は12,649人(前年同期14,328人)、1便あたりの輸送人員は6.5人(目標8.4人)であった。 目標・効果が未達成な理由として、新型コロナウイルス感染症の影響や入院・死亡等による既存利用者の減少、高齢ドライバーの増加による新規利用者の伸び悩みが考えられる。 また、魚津方面へ通勤・通学する方にとって滑川駅での乗り継ぎに不便さがあることが考えられる。	感染症対策を確実にしながら、新規利用者獲得のための事業を継続する。 必要に応じて停留所やルートの見直しを検討するほか、鉄道のダイヤ改正時には、乗り継ぎの利便性を向上できるように、コミュニティバスのダイヤを検証する。
滑川市	小森③ (滑川駅前～小森～本江)	新規利用者獲得のため、市内公共交通の路線図や時刻を掲載したコミュニティバスの時刻表を全世帯に配布したほか、市内の学校、病院、商業施設、観光施設等に時刻表を設置した。またコミュニティバスの時刻を掲載した利用を呼び掛けるポスターを作成し市内中学校へ掲示した。 コミュニティバスの認知度向上のため県内交通事業者と連携し、小学生の運賃を無料にする「親子でおでかけ事業」を夏休みに実施した。 通勤・通学者の利便性向上のため、滑川駅での鉄道との乗り継ぎを検証しダイヤに反映させた(朝:上り線、夕方:下り線)。 また、利用促進、利便性向上のため、県内の路線バスの位置情報、運行状況、遅延情報を案内する「とやまロケーションシステム」を導入した。	A 計画通り事業は適切に実施された。		

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
滑川市	栗山① (グリーンタウン北野口～杉本～市民交流プラザエール前)	新規利用者獲得のため、市内公共交通の路線図や時刻を掲載したコミュニティバスの時刻表を全世帯に配布したほか、市内の学校、病院、商業施設、観光施設等に時刻表を設置した。また、コミュニティバスの時刻を掲載した利用を呼び掛けるポスターを作成し市内中学校へ掲示した。 コミュニティバスの認知度向上のため、県内交通事業者と連携し、小学生の運賃を無料にする「親子でおでかけ事業」を夏休みに実施した。 利用促進、利便性向上のため、県内の路線バスの位置情報、運行状況、遅延情報を案内する「とやまロケーションシステム」を導入した。	A 計画通り事業は適切に実施された。		
滑川市	栗山② (滑川駅前～杉本～市民交流プラザエール前)	新規利用者獲得のため、市内公共交通の路線図や時刻を掲載したコミュニティバスの時刻表を全世帯に配布したほか、市内の学校、病院、商業施設、観光施設等に時刻表を設置した。また、コミュニティバスの時刻を掲載した利用を呼び掛けるポスターを作成し市内中学校へ掲示した。 コミュニティバスの認知度向上のため、県内交通事業者と連携し、小学生の運賃を無料にする「親子でおでかけ事業」を夏休みに実施した。 利用促進、利便性向上のため、県内の路線バスの位置情報、運行状況、遅延情報を案内する「とやまロケーションシステム」を導入した。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 利用者数は10,036人(前年同期11,696人)、1便あたりの乗車人数は5.2人(目標8.4人)であった。 目標・効果が未達成な理由として、新型コロナウイルス感染症の影響や入院・死亡等による既存利用者の減少、高齢ドライバーの増加による新規利用者の伸び悩みが考えられる。 また、魚津方面へ通勤・通学する方にとって滑川駅での乗り継ぎに不便さがあることが考えられる。	感染症対策を確実にしながら、新規利用者獲得のための事業を継続する。 必要に応じて停留所やルートの見直しを検討するほか、鉄道のダイヤ改正時には、乗り継ぎの利便性を向上できるように、コミュニティバスのダイヤを検証する。
滑川市	栗山③ (滑川駅前～杉本～栗山北)	新規利用者獲得のため、市内公共交通の路線図や時刻を掲載したコミュニティバスの時刻表を全世帯に配布したほか、市内の学校、病院、商業施設、観光施設等に時刻表を設置した。また、コミュニティバスの時刻を掲載した利用を呼び掛けるポスターを作成し市内中学校へ掲示した。 コミュニティバスの認知度向上のため、県内交通事業者と連携し、小学生の運賃を無料にする「親子でおでかけ事業」を夏休みに実施した。 利用促進、利便性向上のため、県内の路線バスの位置情報、運行状況、遅延情報を案内する「とやまロケーションシステム」を導入した。	A 計画通り事業は適切に実施された。		

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
滑川市	市街地循環 (滑川駅前～西滑川駅～市民交流プラザエール前) 車両減価償却費等国庫補助金	新規利用者獲得のため、市内公共交通の路線図や時刻を掲載したコミュニティバスの時刻表を全世帯に配布したほか、市内の学校、病院、商業施設、観光施設等に時刻表を設置した。また、コミュニティバスの時刻を掲載した利用を呼び掛けるポスターを作成し市内高等学校へ掲示した。 コミュニティバスの認知度向上のため、県内交通事業者と連携し、小学生の運賃を無料にする「親子でおでかけ事業」を夏休みに実施した。 利用促進、利便性向上のため、県内の路線バスの位置情報、運行状況、遅延情報を案内する「とやまロケーションシステム」を導入した。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 利用者数は8,642人(前年同期10,441人)、1便あたりの輸送人員は6.5人(目標8.4人)であった。 目標・効果が未達成な理由として、新型コロナウイルス感染症の影響や既存利用者の入院・死亡等による利用者の減少、高齢ドライバーの増加による新規利用者の伸び悩みが考えられる。	感染症対策を確実にしながら、新規利用者獲得のための事業を継続する。 必要に応じて停留所やルートの見直しを検討するほか、鉄道のダイヤ改正時には、乗り継ぎの利便性を向上または維持できるよう、コミュニティバスのダイヤを検証する。
滑川市	寺町 (滑川駅前～寺町～市民交流プラザエール前) 車両減価償却費等国庫補助金	新規利用者獲得のため、市内公共交通の路線図や時刻を掲載したコミュニティバスの時刻表を全世帯に配布したほか、市内の学校、病院、商業施設、観光施設等に時刻表を設置した。また、コミュニティバスの時刻を掲載した利用を呼び掛けるポスターを作成し市内中学校へ掲示した。 コミュニティバスの認知度向上のため、県内交通事業者と連携し、小学生の運賃を無料にする「親子でおでかけ事業」を夏休みに実施した。 利用促進、利便性向上のため、県内の路線バスの位置情報、運行状況、遅延情報を案内する「とやまロケーションシステム」を導入した。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 利用者数は10,109人(前年同期11,766人)、1便あたりの輸送人員は7.6人(目標8.4人)であった。 目標・効果が未達成な理由として、新型コロナウイルス感染症の影響や既存利用者の入院・死亡等による利用者の減少、高齢ドライバーの増加による新規利用者の伸び悩みが考えられる。	感染症対策を確実にしながら、新規利用者獲得のための事業を継続する。 必要に応じて停留所やルートの見直しを検討するほか、鉄道のダイヤ改正時には、乗り継ぎの利便性を向上または維持できるよう、コミュニティバスのダイヤを検証する。
滑川市	北部循環 (滑川駅前～水族館前～市役所前) 車両減価償却費等国庫補助金	新規利用者獲得のため、市内公共交通の路線図や時刻を掲載したコミュニティバスの時刻表を全世帯に配布したほか、市内の学校、病院、商業施設、観光施設等に時刻表を設置した。 コミュニティバスの認知度向上のため、県内交通事業者と連携し、小学生の運賃を無料にする「親子でおでかけ事業」を夏休みに実施した。 利用促進、利便性向上のため、県内の路線バスの位置情報、運行状況、遅延情報を案内する「とやまロケーションシステム」を導入した。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 利用者数は5,697人(前年同期7,848人)、1便あたりの輸送人員は4.3人(目標8.4人)であった。 目標・効果が未達成な理由として、新型コロナウイルス感染症の影響や既存利用者の入院・死亡等による利用者の減少、高齢ドライバーの増加による新規利用者の伸び悩みが考えられる。	感染症対策を確実にしながら、新規利用者獲得のための事業を継続する。 必要に応じて停留所やルートの見直しを検討するほか、鉄道のダイヤ改正時には、乗り継ぎの利便性を向上または維持できるよう、コミュニティバスのダイヤを検証する。